

1 2 月

12月、早いもので今年も師走となりました。ここに来て急に寒さも厳しくなり、本格的な冬到来となりました。校内でもインフルエンザの感染者数が急増するという事態が見られたので、感染症対策については気を緩めず行っていきたいです。

11月22日には、3年生が毎年恒例となっている「子ども議会」に挑戦しました。これは、中学生がまちづくりについて考え、議場にて意見を表明するという体験を通し、行政や議会への理解を深めることを目的に実施しています。生徒たちは緊張したと思いますが、「通学路の安全対策」「町の活性化」「税金の使われ方」「防災対策」等について、堂々と質問することができました。また、町長様をはじめ行政の皆様方からも丁寧でわかりやすいご回答を頂くことができました。この取組を通し、3年生は地域の政治を身近に感じ取り、さらに美浜町民としての意識を高めたのではないかと期待しています。

12月22日には二学期の終業式が行われ、校長からは「時間の使い方」について話しをしました。一日は24時間という時間です。この、世界中すべての人に平等に与えられている一日の時間を、どう使っていくのかがとても大切です。特に明日から冬休みに入り、自分で自由に使える時間がどうしても増えてきます。この「自分の時間」をダラダラと何もせず過ごすのか、逆に計画を立てて大切に過ごすのか・・・これは、大きな違いが出てくると思います。

また、「人生の時計の話」も紹介しました。人生の時計の話とは、「今の自分の年齢を3で割った数字は、その人が歩いている人生の時刻を表している」というものです。中学生の皆さんの13～15歳の3年間をこのたとえに照らすと、朝4時から5時までの約1時間に相当します。この時間帯は、一日の内でも最も気温の低くなる厳しい時間帯となります。しかし、新しい一日の始まりを待つ夜明け前の時間帯でもあります。つまり中学生の皆さんは、今は厳しくとも、これからの活発な人生の始まりに向けて、今まさに明るい日の光が差ししてくる所に立っているのです。ですので、間もなく訪れる夜明けへの期待を持って、しっかりと次の一步を踏み出してほしいと願っています。寒さに負けず、頑張ってください。

【 子ども議会の様子 】



